

2020年10月1日

令和2年度 10月入学生への学長メッセージ

九州工業大学長 尾家祐二

この度、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、関係する皆さまの健康面・安全面を考慮し、感染拡大のリスクをできるだけ減らすために、令和2年10月入学式の中止を決定しました。入学生をはじめ、保護者および関係者の皆さまが心待ちにされておられた中、極めて残念ではございますが、皆さまの安全確保と感染拡大防止を最優先とし今回の決断に至ったことを、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

このような状況ではありますが、改めまして、お祝いの言葉を述べたいと思います。ご入学おめでとうございます。そして、これまでのご努力に敬意を表します。九州工業大学に皆さんを迎えることができましたことは、この上ない喜びであります。教職員を代表してお祝い申し上げます。

なお、本日入学される60名の皆さんのうち、55名、約91%は、17の国や地域からの留学生の方々です。このような状況の中、多くの国と地域からたくさんの方々が入学されることを、大変嬉しく思います。

この機会に、今を見つめ、これからの学びについて考えてみたいと思います。まず、技術革新が目覚ましく、グローバル化が進展し続ける近年の世界は、しばしば「VUCA」(不安定(Volatility)、不確実(Uncertainty)、複雑(Complexity)、曖昧(Ambiguity))として特徴づけられています。さらに、私たちは、今、このようなウイルス感染症の世界的規模の拡大に直面し、物理的な移動が大きく制限され、様々な社会活動、経済活動が多大な影響を受けています。より一層、不安定性、不確実性などが増していると言えます。そして、未来社会は、まだ世の中にない技術によって大きく変革され、今は想定されていない課題が生じ、それらを解決する必要がでてきます。

このような状況の中で、皆さんは、これから専門的な知識とスキルを獲得すべく学習し、未解決の課題に取り組むための研究活動を始めることとなります。そして、身に付けた知識、スキル、経験を活かして、希望溢れる未来社会の創造に貢献して欲しいと思います。学習ならびに研究を行う際には、これまでイノベーションを起こしてきた人たちが備えているスキルが参考になると思います。それらは次の5つのスキル、繋げる力(associating)、質問力(questioning)、観察力(observing)、

ネットワーク力(networking)、そして実験力(experimenting)です[1]。

その中でも、新たな知識や課題に出会った際に、それらを深く理解するために、それらについて考え、疑問を持つこと、まさに「質問力」が大切です。知識や課題を唯受け入れるのではなく、考えることにより、自ら関与し、自分の知識や課題とすることができます。よい質問は、よい理解に繋がります、創造的な考えを生み出す可能性があります。是非、質問力を磨いてください。

次に、多くのイノベーションは、ある知識と別の専門の知識等を繋げることで、つまり「繋げる力」によって起きています。専門的な知識を深めるとともに、異なった分野の知識と接する機会を持ち、それらを関連づけ、組み合わせることについて考えるなど、柔軟な思考を心掛けてください。繋げることで、それらの知識の価値が高まり、新たな何かを生み出す力が増します。是非、関連づけること、繋げることを楽しんでください。

将来が不透明で目標が定めにくい今だからこそ、コンピュータや AI 任せではなく、異なった知識、スキル、経験を持った多様な人たちが集まって知恵を出し合うことで、この困難を打ち破るイノベーションを生み出すことができると信じています。

最後となりましたが、しばらくは、オンラインによる講義や研究打ち合わせも多く、不自由を感じることもあるかもしれませんが、入学された皆さんが、健康に十分留意され、知的な好奇心を持ち続け、様々な学習機会と環境を活用し、意義ある大学院生活を過ごされ、本学を選択したことが良い選択となりますことを重ねて希望致しまして、歓迎とお祝いのメッセージと致します。本日は誠にありがとうございます。

[1]クレイトン・クリステンセン、ジェフリー・ダイアー、ハル・グレガーセン著

「イノベーションの DNA 破壊的イノベーターの 5 つのスキル」 (Harvard Business School Press)
翔泳社